

14 図書館および図書・電子媒体等

進捗状況報告

(2) 【14.0.1】の1に関して、2006年度には公私立大学図書館コンソーシアムによるオンラインジャーナルの提供が可能となるよう学内調整をおこない、その結果エルゼビア社発行の購読雑誌については2008年1月からオンラインで提供できるようになった。

(2) 【14.0.2】の1に関して、リポジトリ機能を提供できるシステムの構築に取り組み、2006年度には大学の学術成果物の蓄積・発信のための関西学院大学機関リポジトリを構築した。また、貴重な所蔵図書資料をデジタル化して2006年度には「経済思想家の手稿と自筆書簡データベース」を作成し、大学図書館HPから公開した。

(2) 【14.0.2】の3に関して、書架スペースについては早急に西宮上ヶ原キャンパス内の適当な立地での確保が可能となるよう学長へ要望書を提出した。さらに学長からは理事長へ書架スペース確保の早期実現に向けての要望書が提出された。

(2) 【14.0.2】の4に関して、神戸三田第3期整備計画の中で、KSC共用棟内に新しい図書館分室が設置されることになり2009年4月の理工学部、総合政策学部の学科増設、学生数増に対応できるよう施設設備の検討をおこなっている。また、これに関連して現在Ⅲ号館にある図書メディア館の新しい図書館分室への引越し計画も策定している。

(2) 【14.0.2】の6に関して、2006年度からはホームページのアクセス数のカウントおこない利用実態を把握できるようになった。また、ホームページの英文表示の充実をおこなった。2008年度にはホームページのリニューアルを予定しており現在鋭意検討している。

(3)に関して、図書館内のパソコンが不足しているという実態調査結果から、学内設置のPC増設を情報システム室に要望するとともに図書館内でも持ち込みのPCを使えるようにするべく、2008年度に無線LANの配備を依頼している。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

機関リポジトリの構築や貴重資料のデジタル化などが進み、着実に電子図書館機能を充実させている。ホームページの利用実態も把握できるようになっており、今後はアクセス数などに基づいて見出された課題について改善が進むことが期待される。認証評価で記された図書館内でのパソコン利用の改善については、持ち込みPCのための無線LANの配備などで改善されているかの検証が必要となる。図書館利用実態調査の結果に基づいて定められた広報に関する改善目標について改善に向けた施策を引き続き推し進める必要がある。

なお、書庫の狭隘化という問題について、法人と大学と図書館が協力して解決を目指すことが求められる。